

いしづえ3

3学年 学年だより
NO.3 1
伊達市立伊達中学校 第3学年

2021.12.3(金)発行



性教育講座 「きちんと知ってほしい～性感染症」

12月2日(木), 3年生対象の性教育講座を西口クリニック婦人科医院長の野口まゆみ先生をお招きして行いました。男女のからだの違い, 妊娠, 出産, 避妊, 性感染症, 性の社会性, 性犯罪, 男女での性に関する受け止め方の違い, 男女交際で大切なこと, などについてわかりやすく説明して頂きました。3年生の皆さん, メモを取りながら真剣に視聴していました。自分のからだを大切にして, 相手に対する思いやりの心を持って生活してほしいと願っています。

3年生の皆さんのお話を紹介します。

- 初めて知ったことも多く、いろいろなことを学べた1時間でした。特に低容量ピルに関しては、副作用が多くて、高い薬という印象が強かったのですが、便利で保険の利く薬と聞いて印象が変わりました。
 - 「性」のことについてとても詳しく説明して頂けてよかったです。今回のことでの、更に犯罪に巻き込まれないように気をつけようと自分に言い聞かせました。
 - 性的な関わりを持つときは、いろいろな性を考えて行動をしないといけないんだということがわかりました。
 - 性に関する接し方を改めて理解することができ、これから的生活に活かしていくと思いました。
 - 大人のからだの出会いをもっと知れたことがよかったです。「さびしい」は、恥ずかしくないということがわかりました。
 - 今日の講話を聞いて、性についての考えが変わりました。性病には、性感染症などがあり、エイズなどは、生命に関わることや、男女の距離の取り方などについて改めて知ることができました。
 - 1年生から続く性教育のまとめとして、性感染症の怖さとその予防、そして避妊するときの医師の進める方法など、1、2年生の時よりも踏み込んだ内容でとても興味深く学習することができました。
 - 男性のことでどうしたらよいのかわからなくて、聞きにくいことを知れてよかったです。女性は大変なんだということがわかりました。
 - 私が一番驚いたことは、中絶できない国が世界にはあることを知ったことです。母子ともに不幸のまま子どもを生んでしまうのは、母親も育つ子どもも望まれないことです。「中絶」という言葉そのものがとても恐ろしい印象を私は抱きました。自分の将来をもう一度深く考える機会となりました。
 - 「自立」するということは、「一人で生きていくこと」ではなく、「頼る先をいっぱい持てる」と知り、とても将来に役立つことだと思いました。
 - 性のことや、社会的な問題のことまで聞くことができてよかったです。
 - 気軽に相談できたり、話をすることができる「チャイルドライン」は、とてもよいと思いました。
 - なかなか人に聞きづらいことを聞けてとてもよい学習でした。
 - 「デートDV」など、知らなかったことをたくさん教えて頂くことができました。私も困っている友だちがいたら、助けてあげられるようにし、自立した素敵なお大人になりたいと思います。
 - とても神秘的な話を聞くことができました。あれほどたくさんのウイルスがあるとは知りませんでした。男性や女性のからだについて詳しく知れて、考え方方が変わりました。
 - 私は、生理の日をすらせたり、生理の症状を軽くできるピルという薬があるということを初めて知りました。また、子宮頸がんワクチンも接種したいと思いました。



来週の予定

